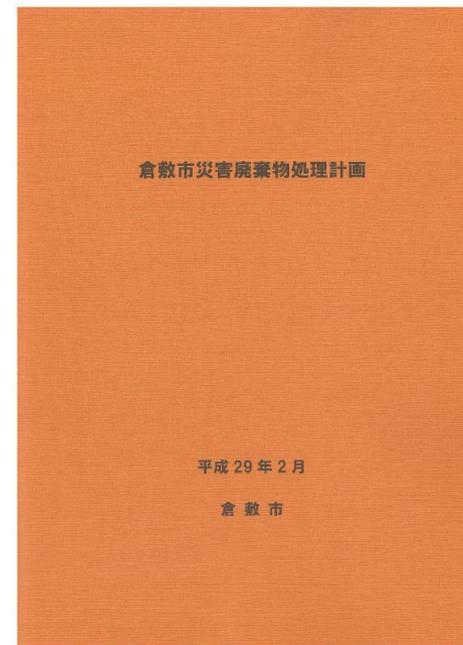


平成29年2月に策定した**災害廃棄物処理計画**を、被災経験をもとに改定
〈改定予定：令和3年3月〉

現計画における課題

- ① 想定する災害を「南海トラフ巨大地震」に限定していた。
- ② 仮置場候補地リストを作成していなかった。
- ③ 民間との連携体制が整備できていなかった。
- ④ 市民への平時からの広報・啓発が十分でなかった。

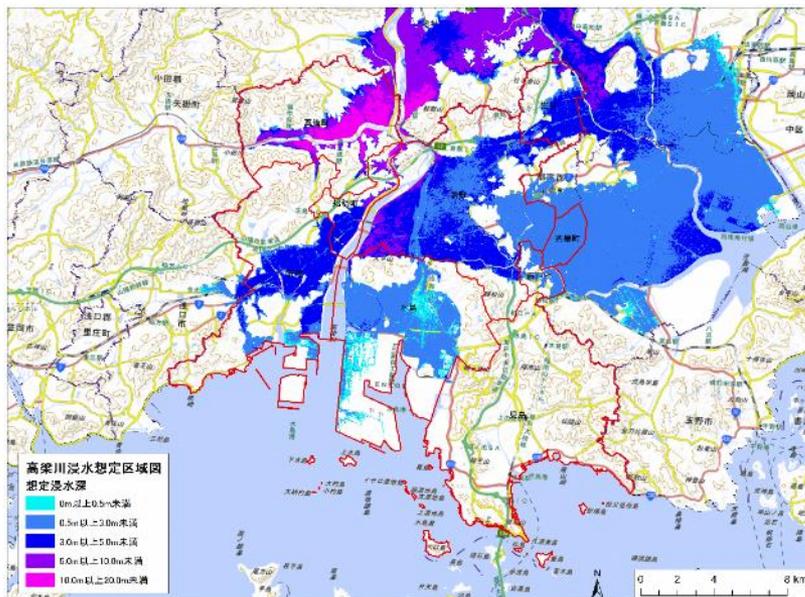


倉敷市災害廃棄物処理計画

課題① 想定する災害を「南海トラフ巨大地震」に限定していた



「南海トラフ巨大地震」に加え、ハザードマップをもとに、高梁川における想定最大規模の浸水被害を追加



参考資料：「高梁川水系高梁川における想定最大規模の浸水想定区域図」(国土交通省、平成30年7月)

水害の規模・想定被害	高梁川水系高梁川における想定最大規模の浸水想定	
総雨量	高梁川流域の48時間総雨量 674mm	
関係市町	岡山市、倉敷市、総社市、浅口市、早島町	
浸水深と倉敷市内の浸水区域	浸水深ランク	浸水域 (m ²)
	0m 以上 0.5m 未満	7,001,988
	0.5m 以上 3.0m 未満	55,023,426
	3.0m 以上 5.0m 未満	40,520,937
	5.0m 以上 10.0m 未満	9,647,020
	10.0m 以上 20.0m 未満	6,015,388
倉敷市域計	118,208,759	

課題② 仮置場候補地リストを作成していなかった。



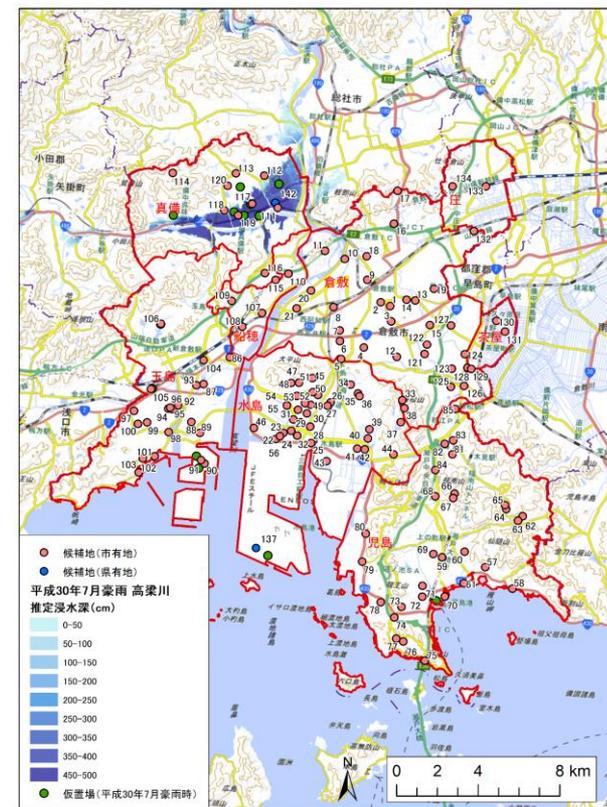
仮置場候補地リストを作成

仮置場候補地の検討手順

市有地134か所と県有地11か所についてGIS処理により情報を付与し、表1.2に示す評価を行い順位付けして整理する。

表1.2 仮置場候補地の評価基準

No	評価の属性	評価の考え方	満点
01	仮置可能面積	面積が大きいほど適	20点
02	道路の状況	幅員13m以上の道路から近いほど適	10点
03	傾斜	傾斜が小さいほど適	10点
04	住宅地からの距離	遠いほど適	10点



仮置場候補地全体図

課題③ 民間との連携体制が整備できていなかった。



「SDGs 災害廃棄物処理官民連携事業」を基に、連携の考え方を明記

SDGs 災害廃棄物処理官民連携事業（R2年度事業）とは

「SDGs未来都市」における「自治体SDGsモデル事業」として実施中。

災害が起きた場合の初動体制を速やかに構築するため、民間事業者、社会福祉協議会等と連携し、災害廃棄物処理初動マニュアル（アクションカード）を作成し、被災地域からの廃棄物の早期撤去ができる体制の平時からの整備を図る。

〈 災害廃棄物処理連携イメージ 〉

- ・実行計画策定
- ・災害廃棄物処理事業実施、管理



課題④ 市民への平時からの広報・啓発が十分でなかった。



「市民版 災害廃棄物処理ハンドブック」を活用し平時から啓発を図る

市民版 災害廃棄物処理ハンドブックとは

大規模災害発生後の大量の災害廃棄物発生に備え、被災地域から一刻も早く廃棄物を撤去するために、市民の皆様を知っておいていただきたいことをまとめたハンドブック。

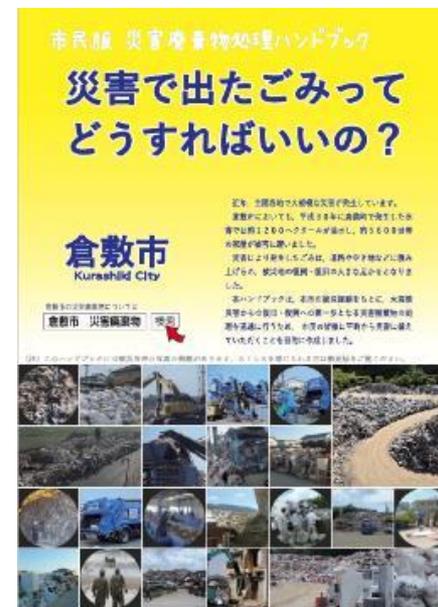
〈普段から知っておいていただきたいこと〉

〈平時からの備え〉

災害発生後の分別方法や持ち込み場所情報の入手先を
普段から知っておきましょう

〈ごみ出しの注意点〉

生活ごみ（生ごみ）と災害廃棄物は混ぜない
災害廃棄物も分別して出しましょう



市民版 災害廃棄物処理ハンドブック

今後のスケジュール

	11月	12月	1月	2月	3月
災害廃棄物 処理計画	素案作成	パブコメ実施	最終案確定	印刷製本	改定
マニュアル 初動	仮置場設置 訓練実施	連携会議開催 マニュアル完成			